

事務事業調書

平成26年度

事業No	374	課	健康推進課	係	予防係	起案者	小笠原沙世
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名					保健センター施設管理事業	事業種別	施設管理

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり			予算科目(会計)	一般会計
	1 健康			予算科目(款・項・目)	20-5-35
	4 地域医療			総合計画以外の計画	
	9 上記施策以外の施策			関連する総合計画の施策	
	9 上記施策以外の施策			性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	有	安城市保健センターの設置及び管理に関する条例、安城市保健センターの管理及び運営に関する規則			
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	一部委託	委託先	民間企業		
実施期間	開始	昭和62年度	経過	27年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	保健センター利用者が		~になる	安全かつ快適に利用できる。
事務事業の内容	保健センターの利用者が、安全かつ快適にサービスを受けることができるよう、施設を維持管理し、提供します。				
改善・対策の履歴	<p>【平成24年度】 保健センターと休日夜間急病診療所の入口の庇のパネルが落下する危険性があったので、修繕を行いました。</p> <p>【平成25年度】 電気、都市ガス、水道、ガソリンの使用量抑制のため、課内で環境教育を実施し、職員の意識向上に努めました。</p> <p>保健センターは、災害時に保健師の活動拠点になるため、災害用備品を購入しました。 施設の老朽化や、保健センターでの人間ドック事業が25年度で終了する等施設の利用方法変更に対応するため、保健センター改修計画の立案を開始しました。</p>				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	207,262	57,751	53,290	50,217	79,704
財源計	203,167	54,916	47,935	44,862	74,349
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	2,394	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	200,773	54,916	47,935	44,862
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,095 (0.65)	2,835 (0.45)	5,355 (0.85)	5,355 (0.85)	5,355 (0.85)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	駐車場用地賃借	見込	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00
	指標名 (単位)	駐車場用地賃借(式)	活動の総事業費(千円)	12,582	9,361	8,899
			活動にかかるコスト(千円)	12,582.00	9,361.00	8,899.00
活動2	活動名 (活動内容)	保健衛生システム機器賃借	見込	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00
	指標名 (単位)	保健衛生システム機器賃借(式)	活動の総事業費(千円)	5,722	5,848	5,722
			活動にかかるコスト(千円)	5,722.00	5,848.00	5,722.00
活動3	活動名 (活動内容)	各種業務委託、施設及び物品管理等	見込	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00
	指標名 (単位)	委託事業等(式)	活動の総事業費(千円)	25,932	38,132	31,186
			活動にかかるコスト(千円)	25,932.00	38,132.00	31,186.00

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	事故件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	苦情件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>災害用備品(非常用発電機、投光器等)を購入し、災害時に保健師の活動拠点としての機能強化を進めています。保健センターは、開館から27年が経過し、建物全体の老朽化が進んでいます。また、保健センターで実施する事業も多様化しており、フロア利用について見直しが必要になってきています。市民の健康増進に寄与する施設としての役割を果たし続けるため、保健センター改修計画の立案を始めました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	<p>平成23年度に借地していた保健センター正面の駐車場を購入したため、24年度から駐車場の賃借料が下がっています。25年度は、駐車場の一部を地権者の都合で2ヶ月間借用できなかったため、コストが若干下がっています。委託業務については、長期契約する等コスト削減に努め、適切な施設管理を行っています。また、職員全員でエネルギー量(電気、都市ガス、水道、ガソリン等)の節約に努めたため、コストの削減につながりました。</p>
成果	<p>適切な施設管理、及び必要に応じた修繕等を適宜実施することで、センター利用者からの苦情件数、事故件数0につながっていると考えられます。ただ、施設の老朽化が進んでおり、平成25年度で保健センターでの人間ドック事業が終了するなど保健センターのフロアの見直しも必要になってきていることから、より快適に市民の方に施設を利用してもらうため、改修をしていく必要があります。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>電気、都市ガス、水道、ガソリン等の使用量の抑制と、施設管理に関わる委託業務等のコスト削減に努めていきます。保健センター改修計画を策定するにあたり、省電力の照明や空調設備の導入を検討します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>保健センター開設より27年が経過し、老朽化がみられるようになり、3階で実施している人間ドック事業が25年度で終了するなど保健センターのフロア見直しも必要になってきていることから、保健センター全体の改修計画を立案していきます。</p>

事務事業調書

平成26年度

事業No	375	課	健康推進課	係	予防係	起案者	小笠原沙世
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	医療機器保守管理事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)	一般会計			
				予算科目(款・項・目)	20-5-35			
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	昭和63年度	経過	26年目	終了	平成25年度	期間	26年
求める成果(目的)	誰(受益者)が	人間ドック受診者が			~になる	安全かつ快適に利用できる。		
事務事業の内容	人間ドック受診者が安全かつ快適にサービスを受けることができるよう、機器を維持管理し、提供します。							
改善・対策の履歴	【平成23年度】眼底カメラ、胸部X線撮影装置各1台を老朽化のため更新しました。また、眼底カメラの電動光学台、オートクレーブを修理しました。 【平成24年度】超音波診断装置、胃部X線装置を修理しました。 【平成25年度】骨密度測定装置、眼底カメラ、オートクレーブ、オージオメーターの修理をしました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	18,146	8,098	5,729	4,845	0
財源計	16,886	7,468	4,154	3,270	0
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	16,886	7,468	4,154	3,270
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	630 (0.10)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	0 (0.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	胃部X線装置点検委託	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託事業(式)	活動の総事業費(千円)	1,659	1,533	1,533	
			活動にかかるコスト(千円)	1,659.00	1,533.00	1,533.00	
活動2	活動名 (活動内容)	超音波診断装置点検委託	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託事業(式)	活動の総事業費(千円)	819	1,374	1,373	
			活動にかかるコスト(千円)	819.00	1,374.00	1,373.00	
活動3	活動名 (活動内容)	自動現像機点検委託	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託事業(式)	活動の総事業費(千円)	525	462	462	
			活動にかかるコスト(千円)	525.00	462.00	462.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	事故件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	苦情件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	医療機器の異常には早急に対処し、人間ドック事業に影響が出ないように努めました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	各医療機器について、保守点検を実施しました。保守点検にかかるコストは、毎年ほぼ同じ金額です。
成果	各医療機器に保守点検を行い、機器の異常に迅速に対応するなどして、適切に医療機器の管理を行うことができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
平成25年度をもって人間ドック事業の廃止をするので、不要になった医療機器を適切に売却、廃棄等していきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
休止・廃止・終了	安城市医師会や関連医療機関と協議・検討した結果、保健センターでの人間ドック事業は平成25年度で終了となりました。不要になった医療機器は、適切に売却、廃棄等をしていきます。